



平成24年3月期 第1四半期連結決算

補足説明資料

2011/8/5

AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD



補足説明資料①

1. 平成24年3月期第1四半期連結決算を振り返って

当第1四半期は、前期末の年度末需要期の反動と例年第1四半期に受注しておりました、官庁関係のシステムの導入が昨年度で終了したことが売上減の要因となりました。

一方で、昨年度に実施しました保守売上の会計方針変更から、当第1四半期も同様に昨年度から期間按分されている当該売上の認識が当第1四半期に繰り入れられ、同期以降に売上認識する金額は繰り延べをしております。

その他、主力製品「WingNeo」の新バージョン「WingNeo INFINITY(ウイングネオ インフィニティ)」へのバージョンアップの提案を継続して行うとともに、3次元計測市場へのMMS計測業務の提案も積極的に実施してまいりました。これらの成果は第2四半期以降の業績に現れてくるものと考えております。以上の結果、当第1四半期の売上高は334百万円となりました。

2. 事業別の売上高について

(1) 主力製品の販売市場である「測量」市場における状況

東日本大震災における被災地の復旧関連の調査業務に多忙を極めながらも、設備投資には慎重な状況にあります。

このような状況の中、主力製品の旧バージョンをご利用のお客様に新バージョン「WingNeo INFINITY」へのバージョンアップを積極的に提案を行っております。また、測量業務の「観測」作業を支援する「外業」市場においては、測量機器とセットに測量現場での観測作業をより効率化を図るツール「Pocketシリーズ」を拡販することで「測量」業務を現場での観測業務から事務所における成果品作成まで、トータルにワンストップソリューションを行える体制へ強化しております。

(2) 3次元計測の市場の状況

従来の測量市場だけではなく、通信や道路といった社会基盤を担う市場、地図業界、自動車業界等様々な市場で当社が保有するモバイルマッピングシステム(以下、MMS)の認知が広まりつつあることから今後、さらなる飛躍を期待しております。

さらに、東日本大震災の復興支援の側面においても、震災前後のデータを比較することで、その地殻変動量を確認する等の有効活用が見込まれております。また、昨年9月に打ち上げられた準天頂衛星「みちびき」により、GPSから受信する位置情報の精度向上が図られることも予想され、より様々な分野での活躍が見込まれております。



補足説明資料②

3. 前期に実施した会計方針の変更による当期への影響は？

前期、会計方針を変更したことに伴い、前期末時点において約2.6億円が今期に繰り越されており、そのうち、契約期間が本年4月から6月分の収益を当第1四半期において認識しております。その額は約84百万円であります。一方で当第1四半期に販売した保守サービスのうち、第2四半期以降へ繰り延べた額は約11百万円となります。第2四半期以降も同様であり、前期販売分で繰り延べられている残高1.8億円を期間経過とともに収益認識を行うとともに、当期販売の保守サービスで契約期間が平成24年4月以降の部分に関しては、契約期間到達時まで収益として認識せずに繰り延べることとなります。

4. 東日本大震災の復興の取組みについて

(1) 第1四半期業績への影響は？

影響はありました。震災が発生した3月に実施予定でありましたお客様に向けたサポートサービスの業務が震災によって4月以降にずれ込んだ結果、時間的な制約から営業活動に多少ながらも影響を与え、販売案件のフォローが満足できる状態ではありませんでした。

(2) 震災後の復興への過程において果たす役割について

当社は測量業務をソフトウェアでソリューションするメーカーであり、そのテクノロジーは震災後の復興に必ずお役立てできると自負しております。例えば、震災の影響によって基準点や土地の境界標等が失われたり見つからない場合等に、震災前の公共座標を基にその標識が存在した概略位置を探したり、標識そのものを見つけたりする作業が必要になると考え、震災前後の推定変動量等を計算する「東日本大震災地殻変動推定パラメータ(アイサン暫定版)計算」ツールを開発し、当社ホームページから無償ダウンロードによって使用できる環境をいち早く整えました。こうした取り組みは、今後も継続し震災地の復興の一助に貢献したいと考えております。



補足説明資料③

5. 測量機器「BAUMstation (バームステーション)」について

世界「初」となります特許「同心円レチクル」を、測量計測器の世界シェアNo.1のライカが開発する計測機器に搭載した

「BAUMstation」は、測量市場からも高い注目を集めており、今後の拡販が期待される商材です。

特に、これまで手間を要しました電柱や建物の角位置等を簡略に観測できることから、東日本大震災の被災地の復旧と復興に向けた測量には最適な計測機器と位置付けています。

